

指定校番号	28046	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立友和小学校	校長	熊谷 裕之	生徒指導主事	田邊 由貴子
-----	------------	----	-------	--------	--------

**取組事例名 『縦割り班そうじ』**

**取組のねらい『キーワード 縦のつながり』**

縦のつながりを作っていくために、本校は6年生から1年生までの縦割り班でそうじを行っている。異年齢で力を合わせることに力を入れている。6年生のリーダー性を育てることもねらいとしている。

**取組の具体的内容『キーワード ◎・㊦・㊧でより良いそうじに』**

縦割り班そうじをより充実させるために、そうじをする時のキーワードを美化・掲示委員会が考えた。そのキーワードは「◎：小声で注意，㊦：OKサインでほめよう，㊧：リーダーの言うことが一番」である。美化・掲示委員会が委員会朝会で呼びかけてくれ、ポスターなども作成し、子どもたちが自主的に取り組めるようにしていった。先生やリーダーも小声で助言したり，OKサインでほめるようにしており，しだいに定着してきている。

**取組の課題・創意工夫『キーワード 花丸カードで承認』**

6年生のリーダー性を育てていくために、学級担任をはじめ全職員がいろいろな場面で児童の指導にあたっている。一つ一つ誉めて育てることを大切にしている。

そうじを，特に一生懸命にがんばった児童に対して，そうじの終わりに担当場所の先生が花丸カードをわたして誉めるようにしている。花丸カードには，具体的にどんなことをがんばったのか書いてわたすようにしている。この花丸カードは教室に帰って担任の先生に見せて誉めてもらう材料にしている。その後は連絡帳にはり，保護者にもわかるようにしている。花丸カードを集めてうれしそうにしている児童もたくさんいる。

縦割り班そうじでは，学級の児童がどのようにそうじをしているか見えにくいので，花丸カードにより，少しでもそうじの時の様子がわかるようにしている。

**取組の成果（効果）『キーワード 自己有用感が育つ』**

縦割り班そうじでは，リーダーである6年生の役割が大きい。6年生が班をまとめていくことが，大変なことは事実であるが，他者から認められているという自己有用感を育てることに役立っている。6年生の1学期末の自己有用感を感じている児童の割合は77%，2学期末の割合は78%である。5年生末の数値が64%だったので，自己有用感を感じている児童の割合が増えている。

また，秋の学習発表会後に他学年の児童に学習発表会の出し物を見た感想などのメッセージを送った際に，縦割り班が同じ児童に対してメッセージを送っている児童がたくさんいた。縦のつながりができていることを再認識した。

**今後の展開『キーワード そうじ始まりのあいさつ』**

今は，昼休憩の後，ばらばらにそうじ場所に来て，そうじがいつのまにか始まっている状態である。来年度にむけて，2月28日から，そうじの始まりのあいさつを取り入れ，全員そろってそうじが始められているか確認しやすくしていく予定である。現在行っているそうじの終わりの反省会もより充実させていけるように考えている。

**他校へのアドバイス『キーワード 縦のつながりから学校のまとまりに』**

先生が，児童の良いところをふせんに書き，職員室前に掲示している承認ボード（つながる友和っ子）にも，縦割り班そうじで縦のつながりができていることがたくさん書かれている。縦のつながりができると，運動会や学習発表会にも良い効果を生み出し，学校全体がまとまることにつながっている。

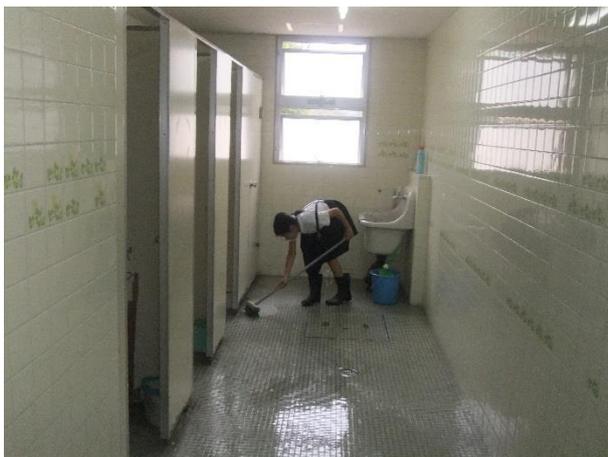
# 縦割り班でのそうじの様子



ほうきではいています。



直角ぶきでふいています。



トイレそうじをしています。



そうじの終わりの反省会です。



花丸カードです。



先生が花丸カードをわたしています。